



アマガエルのえさは、何をどうあたえればいいのか

アマガエルは、生きた小さなこん虫やクモなどしか食べない

カエル類は生きたえさしか食べません。アマガエルもそうです。自然の中ではバッタの幼虫、アリ、カ、ハエなどの、生きた小さなこん虫を長い舌でまいてとらえて食べます。草むらや木の上で生活する種類ですから、飼う水そうには草や木を植えてください。水そのもののガラスにもものぼれます。

生きたえさを手に入れる方法を、飼うまえに計画すること

飼うときには、これらの生きた虫を、毎日飼育箱に入れます。死んだえさしか手に入らない場合は、水でぬらした細い枝の先にえさをつけて、カエルの目の前で生きているように動かします。しかし、この方法では数日飼うのがやっとです。長いあいだ飼うには、ショウジョウバエなどを飼うか、ユスリカの幼虫を育てるなど、生きたえさを、長いあいだ、切らさずに手に入れる方法を、前もって考えておくことです。この見通しがついてから、飼育をはじめてください。

動いてさえいれば、金魚のえさでも食べる

金魚のえさを粉にして、水でぬらした針金のような細い枝につけて、口先で動かせば食べます。金魚のえさで飼うために、機械じかけで、えさをちらちらさせる、自動給餌装置を研究している人もいます。まだ、成功していないようです。（監修・中山 周平）

